

会長あいさつ



会長 清水 良夫

今年度は、3名の委員の方に新しく仲間として活動に加わっていただきました。ここ2年間はコロナウイルスの影響で活動がかなり制約されていましたが、感染対策をしながら何とか各イベントを一通り開催できたことは良かったです。特に2月恒例の「小学生ドッチビー大会」は3年ぶりに有観客にて武蔵野の森総合スポーツプラザのメインアリーナで開催できたことは本当にうれしく思います。各小学校から実行委員の方を選出していただき、盛大且つ大きなトラブルもなく終えられたことは実行委員の皆様方のお陰です。本当にありがとうございました。

来年度は、9月に近隣7市のスポーツ推進委員会・協議会をお招きし開催する東京都スポーツ推進委員研修会「広域地区別研修会」の幹事市として大きな役目があります。会長としても任期最後の一年になりますので、より積極的にスポーツ推進委員会の活動が行えるよう、委員会で検討協議して実施していきたいと思っています。これまで同様に地域の皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

調布の 推しスポ



スポーツ鬼ごっこ text:市川仁史

十数年にわたり普及・推進に努めてきた「ドッチビー」は、市内全小学校に定着し、武蔵野の森総合スポーツプラザで大会が開催されるほどに発展してきました。その「ドッチビー」に替わるニュースポーツの発掘にも注力するなかで、2022年度から「スポーツ鬼ごっこ」をメインに普及活動を展開していくことにしました。「スポーツ鬼ごっこ」は、誰もが遊んだ経験のある鬼ごっこをスポーツの形に発展させたものであり、運動の苦手な子どもでも参加でき、ゲームを楽しんでいるうちに自然に身体能力が高まっていく、さらに特別な道具やユニフォームは必要ないという多くのメリットを持つスポーツです。

ベースボール5 text:原 慎一郎

世界野球ソフトボール連盟(WBSC)が推奨するアーバンスポーツ。親しみのある野球の派生的競技でルール指導なども比較的容易なため、おすすめのニュースポーツです。

Point

- 基本的なルールは野球・ソフトボールと同じ
- 試合は1チーム5人制
(公式国際大会では男女混合)
- 2026年ダカールユースオリンピックの公式種目に追加

必要なのは
ボール1つ
だけ!





新型コロナの影響を受け、実施できずにいた調布市・三鷹市・武蔵野市の三市交流会を、今年度は実施することができました。

今回は調布市から「スポーツ鬼ごっこ」、「ふらば～るバレー」、「ベースボール5」をご紹介します。「スポーツ鬼ごっこ」と「ふらば～るバレー」は三市混合のチームを組み、実際に試合をしました。「ベースボール5」は、特殊なボールを使ったキャッチボールや、手の平でのバッティングも体験。試合や体験を行う中で、ルールや競技の進め方について知っていただきました。

参加者からは「はじめて体験するスポーツだったが面白かった！」と大変好評をいただき、久しぶりに他市の皆さんと交流ができた良い機会となりました。調布市としては、今回の交流会を受け、改めて新しいニュースポーツを普及させていきたいという目標を再確認することができました。

ポッチャ指導

text:加藤 輝行

ヨーロッパ生まれのスポーツである「ポッチャ」は、パラリンピックの正式種目であり、老若男女、障害の有無を問わず、すべての人が共に競い合えるスポーツです。調布市スポーツ推進委員会では、今年度も小学校や高齢者施設等での実技指導を行いました。

1年生は元気いっぱい、2年生や4年生はボールを投げる方向や強さを考えながら、試合をしていました。

5月17日	調布市老人クラブ連合会
9月27日	飛田給小学校 1・2年生
11月27日	染地小地域スポーツまつり
12月12日 16日	多摩川小学校 1・2年生
2月2日	第一小学校 4年生
2月12日	遊ing

調布市スポ推作成
ポッチャ紹介動画
YouTube



ポッチャ指導を希望される学校や施設の方は、地区担当のスポーツ推進委員またはスポーツ振興課までご相談ください。

ニューススポーツ交流会 2022.10.10(月・祝)武蔵野の森総合スポーツプラザ

text:大島 直人

大人を対象としたニューススポーツ交流会「ふらば〜るバレー」を開催しました。

調布市内から22チームが集まり数年ぶりの交流会を、参加者の皆さん楽しんでいました。参加者からも「楽しかった」「来年もまた開催してほしい」などのお言葉をいただきました。

推進委員もプレイヤーとしても、審判としても奮闘していました。



Other Topics

自主研修
(スポーツ鬼ごっこライセンス講習)

その他協力事業
障害者スポーツ体験会
調布市民駅伝競走大会
調布市学童ドッチビー大会

etc...

東京都スポーツ推進協議会 功労者表彰

長きに渡り地域スポーツ振興にご尽力いただいている方を表彰する「功労者表彰」において、今年度調布市からは、原寿史委員、山口順子委員の2名が表彰されました。

おふたりは10年間、調布市スポーツ推進委員として活動いただいています。



原寿史 委員



山口順子 委員

調布市小学生ドッジビー大会 2023.2.23(木・祝)武蔵野の森総合スポーツプラザ

text:原 寿史

低学年23チーム、高学年19チームが午前と午後に分かれて熱戦を繰り広げました。(ドッジ)ボールの代わりにウレタン製の柔らかいディスクを使って行うドッジビーは、誰にでもできる健康スポーツとして、スポーツ祭東京2013(東京国体)のデモンストラレーション競技に採用され調布市で競技会が行われました。以来継続して開催されてきた大会でしたが、コロナ禍でここ2年間は開催を断念せざるを得ない状況でした。

本大会は、調布市スポーツ推進委員会と市内各小学校区のPTAや学校開放運営委員会、健全育成推進地区委員会などから推薦された地域の方々で構成される実行委員会によって運営されるもので、2022年11月17日の第一回実行委員会から準備を行ってまいりました。ちょうど感染第八波の立ち上がり重なっていたことから、中止の不安と戦いながら知恵を出し合い、人数制限、移動制限、滞在時間の短縮、飲食禁止、当日までの健康チェック等の感染防止策を練り上げました。



当日は500名を超える子どもたちが参加し、5・6チームずつ4つのコートに分かれてリーグ戦による熱い戦いが繰り広げられました。内野に一人でも多く残ったチームが勝ちとなるゲームですが、獲物を射るような鋭いシュートスローや有り得ない体勢での見事なキャッチなどが随所で見られ、その度に何処からともなく歓声が沸き起こっていました。一心不乱にディスクを追う姿や何に遠慮することもなく湧き出してくる喜怒哀楽の表情に触れ、久しぶりにコロナから解放されたひと時を過ごすことができました。子どもたちの笑顔は何ものにも代えがたい宝物です。

最後に大会準備運営をともにしてくださいました実行委員の皆様、子どもたちの指導・誘導をしてくださった監督・コーチの皆様、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

